

平成23年第3回（6月）掛川市議会定例会  
一般質問発言順序

- |   |     |       |
|---|-----|-------|
| 1 | 18番 | 高木敏男君 |
| 2 | 3番  | 川瀬守弘君 |
| 3 | 9番  | 山崎恒男君 |
| 4 | 6番  | 栞原通泰君 |
| 5 | 4番  | 山本行男君 |
| 6 | 8番  | 柴田正美君 |
| 7 | 7番  | 鈴木久男君 |
| 8 | 5番  | 中上禮一君 |

平成23年第3回(6月)掛川市議会定例会  
一般質問発言順序(予定)

---

6/21 AM 18番 高木敏男君

3番 川瀬守弘君

---

PM 9番 山崎恒男君

6番 栞原通泰君

---

6/22 AM 4番 山本行男君

8番 柴田正美君

---

PM 7番 鈴木久男君

5番 中上禮一君

## 一般質問通告要旨

議席番号	18	氏名	高木敏男	質問の方式	(一問一答・総括)
------	----	----	------	-------	-----------

1 東日本大震災から学ぶ掛川市の災害対策について (答弁：市長)

- (1) 自主防に市が期待することは
- (2) 耐震診断、補強への推進策は
- (3) 茶の検査を継続的に行っていくのか
- (4) 検査料の負担は、誰がするのか

2 市長のマニフェスト進捗状況について (答弁：市長)

- (1) 平成23年度市民意識調査の結果についての市長の感想は
- (2) 太陽光発電の全戸設置への展望は
- (3) E評価、未着手への今後の取り組みは

3 介護保険第5期事業計画策定の方針について (答弁：市長)

- (1) 平成22年度実施したアンケートから、どんなことが浮かび上がってきているのか
- (2) 第5期では、「健康医療日本一」や新病院開設が深く関わってくる。それらを踏まえ、何を基本に策定していくのか
- (3) 特養、老健の施設整備を促進すべきでは

4 節電、省エネ対策について (答弁：市長)

- (1) 土、日の学童保育の実施の考えはないか
- (2) 市長の「徹底した節電、省エネ」とは具体的に何か

5 6月補正について (答弁：市長)

- (1) 韓国や中国からのエージェントの受け入れに横城郡を考えたかどうか
- (2) 横城郡との交流の現状と今後の日程は

6 8園化構想の完了と今後の方向性について

(答弁：市長・教育長)

- (1) さかがわ幼稚園の工事により、8園化は終了となるが、この構想の成果と課題は
- (2) 南部地域における幼稚園、保育園の課題は
- (3) その解消に向けた取り組みは

## 一般質問通告要旨

議席番号	3	氏名	川瀬守弘	質問の方式	(一問一答・総括)
------	---	----	------	-------	-----------

### 1 原発問題について (答弁：市長)

- (1) 福島原発の事故で市民の不安の声が高まっている。原発と共存できないと多くの市民が考え始めている。市長の認識を伺う
- (2) 浜岡原発は東海地震の震源域の真上にあり、直下に断層がある。3連動地震も予想される。原発の立地は適地でないと思うが、市長の見解は
- (3) 中電は12メートル以上の防波壁で津波対策は万全と言っている。完成すれば再起動の条件と考えるのか
- (4) 5号機で海水流入・細管破損の重大事故が発生した。原発は止めて安心ではないことがまたも実証された。事故・トラブルが続発している原因は何か。中電から報告されているか
- (5) 国と電力会社が「安全神話」で推進してきたが、安全神話に対する市長の見解を伺う
- (6) 原発からの撤退と自然エネルギーの普及で温暖化対策・地域経済再生を図るべきと考えるが見解を伺う
- (7) 安全最優先の権限と責任を持った審査・規制機関が必要と考えるが市長の見解を伺う
- (8) 市はお茶への風評被害に対してどのような対応と対策をしてきたのか伺う

### 2 東海地震対策について (答弁：市長)

- (1) 木造住宅の耐震化・耐震補強工事の促進について
- (2) 学校施設・公共施設の耐震化、耐震補強工事の促進について
- (3) 広域避難所の耐震化、避難路整備について
- (4) 防災訓練・避難訓練の内容充実について
- (5) 住宅リフォーム助成制度の創設について

### 3 新病院・地域医療について (答弁：市長)

- (1) 「(仮称) 希望の丘」構想、後方支援病院の位置付けは、どのようなものか。新病院急性期後の「回復期・リハビリ病院」なのか伺う
- (2) 人間ドックの値上げが利用者減となっている。保健、予防の観点から検討が必要と考えるが見解を伺う

(3) 市立病院充実要望の市民の声が多い。新病院の市民説明会で「来院した患者は診察できるようにしたい。スタッフが確保できれば対応できる。」と述べている。市民に信頼される病院としての大きな課題と思うが見解を伺う

#### 4 教育・子育てについて

(答弁：市長・教育長)

(1) 保育所の待機児童をゼロにする施策について

(2) 学童保育の条件整備、施設改善について

## 一般質問通告要旨

議席番号	9	氏名	山崎恒男	質問の方式（一問一答・ <b>総括</b> ）
------	---	----	------	-------------------------

### 1 「(仮称) 希望の丘」構想について (答弁：市長)

- (1) 民間医療法人による病院が、近隣各病院も包含した後方支援病院としてどのように機能していくのか、また、その機能について掛川市と法人との考え方に異論もなく、相互理解は図られているのか伺う
- (2) 民設民営による綾和会の進出に対して、市はどのような支援策を考えているか。また、新病院開院と後方支援病院の開院時期が、前後1年の差であるが、看護師確保等で問題課題はないのか伺う
- (3) 「(仮称) 希望の丘」構想について、周辺地域住民に対する説明会での地域住民の反応、受け止めはいかがだったか伺う

### 2 掛川市の緊急省エネ・節電推進について (答弁：市長)

- (1) 推進本部では、市庁舎及び関連施設も含めて、前年度電力使用量の11%の削減目標だが、市民・地域・団体・企業等には目標数値の設定を示さないのか伺う
- (2) 推進本部が掲げた事業内容に添って、市民・地域・団体・企業等に対してどのように啓発・推進に努めるのか伺う
- (3) 太陽光発電・太陽熱温水給湯及び照明省エネ等の普及に、専門的アドバイザーを配置して説明会・個別相談等に対応する窓口を設置する考えはないか伺う

### 3 県産茶の放射能調査結果の波紋と対応について (答弁：市長)

- (1) 県内において暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたことを受けて、市の対応の経過と今後の対策について伺う
- (2) 掛川茶振興協会として、風評被害の防止等に努める必要があると思うが、会長でもある市長の考えを伺う
- (3) 掛川茶の検査結果の数値を各茶商の取引先に提示して安全安心の理解と、消費者に対して掛川市長の安全宣言を配布するよう要請してはいかがか、市長の考えを伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	6	氏名	栗原通泰	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 再生資源エネルギーの転換について (答弁：市長)

- (1) 市長は将来のエネルギー政策についてどのような見解をお持ちか伺う
- (2) 脱原発政策を訴えている首長もいるが、市長の考えを伺う
- (3) ソフトバンクの孫社長が提唱している遊休農地等への「メガソーラー建設」の呼びかけに対する市長の考えを伺う
- (4) 脱原発の政策転換として、風力発電の適地として遠州灘の海中一帯に風力発電建設構想を提唱することも一考かと思うが、見解を伺う
- (5) 将来構想として国に対してクリーンな電力エネルギーを地産地消で賄うという方針を掲げることにについて、市長として持ち合わせているか伺う

### 2 「東北地方太平洋沖地震現地視察調査報告書」から、現地調査を振り返っての今後の取り扱いについて (答弁：市長)

- (1) 「即応する検討事項」「中期的に検討していく事項」「長期的にわたり検討していく事項」に区分して検討していく考えはあるか伺う
- (2) 区分して検討していく方針であるとするなら、その具体的内容はどのような区分内容か伺う
- (3) 今回の震災で多くの行政職員の方達が職務遂行中に亡くなっている。その教訓として何があるか
- (4) その教訓を今後の震災対応のために生かす内容は何か伺う
- (5) 津波に対する自主防災会への課題はみえてきたが、地震の被災に対する自主防災会への課題があると思う。今後の自主防災会に対して強化充実を望んでおられるか伺う
- (6) 地震災害における情報収集が困難となりの確な行政対応ができていないケースが多い。南部方面で民間が収集した情報が的確に対策本部に伝達できるか疑問である。いざという時のために小笠山に民間で使用可能な非常用無線基地を建設することを提言するが、検討する考えはあるか伺う



## 一 般 質 問 通 告 要 旨

議席番号	4	氏名	山 本 行 男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	---------	-----------------

1 被災者支援システムの活用を伺う (答弁：市長)

- (1) 掛川市のこのシステムの進捗状況は
- (2) 運用についての課題は
- (3) 近隣市とのシステム共有化の考えは

2 釜石の奇跡に学べ、防災教育を伺う (答弁：市長・教育長)

- (1) 今回の震災を受けて県教育委員会からの通達は
- (2) 掛川市の取り組みは
- (3) 学校現場（教師）への防災教育は

3 放射能汚染への対応を伺う (答弁：市長・教育長)

- (1) 測定器の学校への配布計画は
- (2) 不安を解消するために市でやるべきことは

## 一般質問通告要旨

議席番号	8	氏名	柴田正美	質問の方式	(一問一答)・総括
------	---	----	------	-------	-----------

### 1 原発震災に関連して市長の見解を問う (答弁：市長)

- (1) 今回の福島第1原発事故についてどのような認識か、私たちは人災の認識だが市長の見解を問う
- (2) 市長は、5号機の再起動に賛成した。国策「安全神話」に追随した責任はどのように感じているか
- (3) 東海地震の震源域の真上の立地は適当か
- (4) 浜岡原発は、3連動地震や「完新世段丘」の知見から想定される地震の揺れに耐えうるとの見解か伺う
- (5) 中電は、砂丘で大丈夫と言っており、裕度向上の「12メートル以上の防波壁」完了すれば再稼働に賛成するのか伺う
- (6) 「資源エネルギー庁」と「原子力安全・保安院」同じ経済産業省で審査・規制体制が不十分と思うが市長の所見を伺う
- (7) 防災対策重点地域（EPZ）30キロ圏拡大への見解は
- (8) 安全協定に「事前了解事項」を今こそ盛り込むべきでは。見解を伺う
- (9) 万一の地震と原発災害を想定した防災計画策定と訓練の実施について伺う
- (10) ヨウ素剤の保管場所と配布方法の再検討を伺う
- (11) 「原発は絶対に安全」と教える副読本、「わくわく原子カランド」（小学校）、「チャレンジ！原子カワールド」（中学校）そして広報・安全等交付金で作られた原発礼賛の回覧板の運用の見直しについて見解を伺う
- (12) 浜岡原発の圧力容器内、燃料プールの燃料棒集合体はそれぞれ何体存在しているか停止後の安全対策について伺う
- (13) 想定外の事故は必ず起こりうるし、原発で「想定外」の言い訳は許されない。福島の収束は見通しがつかず、原発技術は本質的に未完成です。東海地震の震源域の真上に位置する浜岡原発は、その存在自体が住民の安全・安心と両立しえず、廃炉しかないのではないか、見解を伺う
- (14) 再生可能自然エネルギーの普及、地産地消費を目ざせ。そして、省エネと節電が重要と考える。エネルギー政策の転換について市長の見解、具体策を伺う

### 2 防災対策について (答弁：市長)

- (1) 地震・津波対策で大東・大須賀区域の避難場所の指定、津波タワーの建設について伺う
- (2) 大東支所と大須賀支所の充実、機能強化について市長の見解を伺う

### 3 都市計画税の見直しについて

(答弁：市長)

- (1) 「都市計画税は目的税で受益が前提か」の質問に「その受益は都市計画区域全域に及ぶ」と答弁、そうであるならば、都市計画区域全域に課税しなければ矛盾するのでは、見解を伺う
- (2) 地方税法702条は、線引き自治体にはっきり課税基準を示している。掛川では、準用しないという答弁だが、それでは何を基準に課税するのか伺う
- (3) 「100点とかでなく、受益があるか否か」が課税の基準だと明確に述べられているが、三橋委員長の「辺地という形式的基準はおかしい」という発言について、見解を伺う。
- (4) 「50年も何もやらないのでは、実質、市街化調整区域では」の質問に「いろいろやってきた」と答弁、それなら掛川区域の用途地域外すべてについて、どこに何をやってきたか伺う
- (5) 「市街地化しないところは、線引き、非線引き関係なく課税しない努力を」の質問に、「掛川は線引きしてないから関係ない」の答弁だが、それでは702条の法の趣旨は全く生かされません。「牧之原市」は空港地域に課税しようとしたが、市街地化しなければだめと国・県に指導され、都市計画税を廃止した。見解を伺う
- (6) 辺地について一昨年6月議会では「より受益がある」、昨年12月議会では「ほとんど受益がないから見直す」、180度違う見解はおかしくないか見解を伺う

## 一 般 質 問 通 告 要 旨

議席番号	7	氏名	鈴木久男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

1 東日本大震災による当市予算への影響と安全、安心な社会構築のための対策について (答弁：市長)

- (1) 南北道（高瀬・上内田農道）は、下層路盤も弱い。緊急避難路として活用できるか心配する。その見解を伺う
- (2) 現南北道（主）掛川大東線青田トンネルの開削が必要と思うので、その見解を伺う
- (3) 緊急避難棟（原子力防災と津波対策）設置の必要性について伺う
- (4) 義務教育施設を初め、公共施設の耐震補強計画について伺う
- (5) 巴工法の体育館の耐震対策について伺う

2 東日本大震災による当市財政状況への影響について (答弁：市長)

- (1) 新たな行政需要に対する、財源措置について伺う
- (2) 新しい公共による行革と、スクラップ アンド ビルドの考え方を伺う
- (3) 交付金減額分に対する事業計画への影響について伺う

3 東海・東南海・南海の3連動地震もあり得ると言われる中で、市の被害想定を見直すことが緊急に必要と思うので見解を伺う (答弁：市長)

4 県の被害想定では、津波が全く軽視され、その対策が遅れていることについて (答弁：市長)

- (1) 大須賀・大東地域の海岸線沿いは、海拔3m程度の低地が多い。住宅・工場・事業所等への万全な避難対策を伺う
- (2) シートピア、くにやす苑等、不特定多数の人が出入りする公共施設の緊急時の対策を伺う
- (3) 今回の大津波警報に対する経験を踏まえ、公共施設の抜本的な対策について見解を伺う
- (4) 避難場所の緊急見直しの必要性について見解を伺う

5 福島原子力発電所事故による、放射性物質の風評被害は脅威である。正しく適切な情報提供の姿勢と伝達方法について伺う (答弁：市長)

6 防災マニュアル策定にあたり、個人情報保護条例がネックになっていないか問う (答弁：市長)

(1) 自助・共助・公助による安心安全な市民参画型地域づくり推進のための、市の行政指導のあり方を伺う

(2) 新しく市民になる人達に対する指導（防災に対する内容等）はどのような内容か伺う

(3) 共同住宅を扱う管理人や、オーナーとのコミュニケーションは図られているか伺う

(4) 共同住宅問題は、毎年自治連合会でも課題と思うがどのような点がネックか伺う

## 一 般 質 問 通 告 要 旨

議席番号	5	氏名	中 上 禮 一	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	---------	-----------------

### 1 再生可能エネルギーの設置について (答弁：市長)

- (1) 太陽光発電の設置率20%達成時期は
- (2) その具体的施策は
- (3) 学校以外の公の施設への太陽光発電の設置は
- (4) 将来的には太陽光発電か風力発電か

### 2 市内小中学校における講師の現状について (答弁：教育長)

- (1) 掛川市の定数内講師の比率は
- (2) 講師が係わる教育活動と校務における課題は
- (3) 講師の研修は

### 3 健康増進策について (答弁：市長・教育長)

- (1) ラジオ体操のまち掛川の実現は
- (2) 同報無線放送を活用したラジオ体操普及の方策について伺う